

(夜間瀬橋と堤外水門)



(分水タンク取入口)



夜間瀬川の、中野市と山ノ内町との間に架かる夜間瀬橋。中野市から山ノ内町に向かう橋の手前には、八ヶ郷用水取入口がある。この付近は古来より、夜間瀬川より中野扇状地に水を取り入れる、大事な場所である。当初は、中野村が中心になり用水の取入を始めたが、竹原村・一本木村など八ヶ郷が用水の取入を行った。八ヶ郷用水取入口が各村で重要な場所であったことは、分水タンクが現在の公団で中野・一本木・竹原の三つに分かれていた。この治水も、中野市の発展と大きくかかわってきた。この川に架けられた夜間瀬橋も、時代と共に近代化された。そこで、この地の歴史を整理し、「八ヶ郷用水取入口付近の歴史」として年表に整理した。

八ヶ郷用水取入口付近の歴史

黒崎一男

1565		1555～1569		1406	1021	1015	878	西暦
永禄8	江戸時代	弘治から永禄年間	16世紀前半	応永13	治安1	長和4	元慶2	和暦
月） が特に被害が大きかったと伝えられる。（八月）	内へ通じていた。 田地籍）と宇木をむすぶ宇木道から参道が境 上部の字松崎にあり、中野のトッコ橋（栗和 水除宮の神明社（竹原新田組）社殿は竹原最	伝えられる。竹原堰が開削される。	堰・吉田堰・若宮堰が開削される。	夜間瀬川大洪水となり、流路を北寄りに変え 現在の流路になったと伝えられる。（八月）	建。松崎（中野市栗和田）に武水穂神社の社殿再 伝承	横湯川の洪水により武水穂神社の社殿流出。 伝承	横湯川暴流。これを防止するため松崎（中野 市栗和田）に武水穂神社（水分神）創建。（九 月十日） 伝承	内容
史。中野八ヶ郷水利	竹原神社の歴史。	史。中野八ヶ郷水利	史。中野八ヶ郷水利	史。中野八ヶ郷水利	須坂・中野・飯山 社寺。高井百八十 二号（武水穂神社 樋口春雄）。	須坂・中野・飯山 社寺。高井百八十 二号（武水穂神社 樋口春雄）。	須坂・中野・飯山 社寺。高井百六十 一号（中野市武水 穂神社・池田一 男）。高井百八十 二号（武水穂神社 樋口春雄）。	引用文献（談）

1757	1757	1747	1747	1745	1744-1747	1743	1742	1722	1618	1614	1593	1578
宝暦7	宝暦7	延享4	延享4	延享2	延享年中	寛保3	寛保2	享保7	元和4	慶長19	文禄2	天正6
竹原村等五か村、松崎取水口を掘抜用水溝に改修する計画を立てる。(六月)	夜間瀬川大洪水のため堤防破損し、竹原村等五か村で御普請願いでる。(五月)	竹原村が堤内地に水除雑木林と水除宮を設ける。	夜間瀬川の洪水により自普請の築堤流失する。(九月)	前年(延享二)と同じ流路で洪水となり、一本木村等の畑を流す。	江戸時代竹原村が竹原用水取水口に太神(伊勢)宮・水防林内に飯縄宮・金井用水の取水口の横に太神宮を祀る。	松崎より壁田村まで夜間瀬川の断続堤が完成する。(七月)	夜間瀬川大洪水(戊の満水)のため、中野扇状地の田畑が埋没流失する。(八月)	夜間瀬川大洪水のため、八か村用水松崎取水口が大破し、八か村にて改修する。(七月)	幕府代官の名を受け、黒崎治部助・白井市左衛門が中野村新田栗和田の開発にあたる。中野堰・更科堰が拡充整備される。	高社山で豪雨により山津波が発生した。二つの山津波は夜間瀬川方向に流下し、集落を押し潰した。夜間瀬川で洪水が発生し、延徳沖で特に被害が大きかった。	武水穂神社が松崎(中野市栗和田)から現在地(中野市中央一―三一―一九)へ移転。火災にあったり大水害で神体が流され、今の神社がある処にとまったといわれている。今も、八ヶ郷水利組合の祭神である「水神様」の像が神社に収められている。	夜間瀬川大洪水となり、中野・間長瀬・竹原の諸村が特に被害が大きかったと伝えられる。(五・六月)
中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。	竹原神社の歴史。	中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。	竹原区史。	中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。	夜間瀬川の地形形成史と土砂災害・砂防事業(長野県建設部砂防課)。	須坂・中野・飯山社寺。高井百六十号(中野市武水穂神社、池田一男)。高井百八十号(武水穂神社、樋口春雄)。	中野八ヶ郷水利史。

1890	1890	1890	1986	1886	1876	1872		1856	1833	1828	1774			
明治 23	明治 23	明治 23	明治 19	明治 19	明治 9	明治 6		安政 3	天保 4	文政 11	延享 1			
<p>前橋街道は栗和田から八ヶ郷用水取入口の 上流側を通り、新しい橋（板橋）で対岸にわ たるようになった。ここはかつて文政3年</p>	<p>堤防の内部に砂利、その外側（法面）に石を 積んだ、新式の堤防（石腹付砂利堤防）が くられるようになった。</p>	<p>竹原の水除飯綱宮が八ヶ郷タンクの北側の 神社地へ移された。（前は、すこし北にあっ た。）</p>	<p>川の堤防の構造が大きくなる。（これまで は石を積み上げた石提。）</p>	<p>長野県が夜間瀬川を管理。これに伴い夜間瀬 川からの呼び名と思われ。</p>	<p>八ヶ郷の呼び名は中野町他七ヶ村用水組合 となる。松川村が中野町に合併した明治八年 から。</p>	<p>夜間瀬橋は土橋（長さ九メートル、幅一・八 メートル）となる。江戸時代からの道。</p>	<p>八ヶ郷の呼び名が中野町他八ヶ村用水組合 となる。</p>	<p>悪水を堤外へ戻すようになっていた。</p>	<p>（石提）を築き、水制棒で補って川の流れを おさえ、洪水が一挙に村へ流れ込むのを防い だ。夜間瀬川が増水すると、水は堤防の切れ 間から溢れでるが、そこには松林が続いてい た。松林の中には所どころに低い石積み（控 え提）があつて、村への浸水を防ぐとともに、</p>	<p>明治時代初期は、夜間瀬川の堤防は、江戸時 代のつづきだった。要所への石積みの堤防 （石提）を築き、水制棒で補って川の流れを おさえ、洪水が一挙に村へ流れ込むのを防い だ。夜間瀬川が増水すると、水は堤防の切れ 間から溢れでるが、そこには松林が続いてい た。松林の中には所どころに低い石積み（控 え提）があつて、村への浸水を防ぐとともに、</p>	<p>か村より御普請願いでる。（八月）</p>	<p>夜間瀬川大洪水となり松崎付近の堤防が決 壊する。（八月）</p>	<p>大沼池の築堤が流失する。（六月）</p>	<p>夜間瀬川大洪水「戊の満水（一七四二年）」 と同じ流路をとる。</p>
竹原区史。	竹原区史。	竹原神社の歴史。	竹原区史。	中野八ヶ郷水利史。	竹原区史。	中野八ヶ郷水利史。	竹原区史。	中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。	中野八ヶ郷水利史。			

1933	1931		1913	1910	1910	1910	1904	1896	1894	1893			
昭和 8	昭和 6	大正 中	大正 2	明治 43	明治 43	明治 43	明治 30 後半	明治 29	明治 20 後半	明治 26			
<p>き 動 敷 松 さ タ、を 敷 崎 の ン、堤 にあ 用 分 ク、防 った 水 水 ク外 外 口 口 に 防 った 口 を 外 外 口 通 設 った 改 し け った 造 て ら け 工 用 け け 事 水 け け 行 が け け わ 送 け け れ ら け け た れ け け れ る け け た 方 け け た 式 け け た</p>	<p>ら 八 れる ケ 。 郷 。 水 。 利 。 組 。 合 。 記 。 念 。 碑 。 が 。 松 。 崎 。 揚 。 水 。 口 。 に 。 建 。 て</p>	<p>し 夜 た 間 ま 瀬 で 川 つ の づ 堤 く 防 。 は 。 夜 。 間 。 瀬 。 橋 。 金 。 井 。 用 。 水 。 口</p>	<p>間 宮 ） が 八 個 ケ 人 郷 に タ 売 ン 却 ク 。 の 。 北 。 側 。 竹 。 原 。 堰 。 と 。 若 。 宮 。 堰 。 の</p>	<p>三 夜 ・ 間 六 瀬 メ 橋 ー の ト 新 ル 橋 。 完 。 成 。 長 。 さ 。 一 。 四 。 二 。 メ 。 ー 。 ト 。 ル 。 幅</p>	<p>竹 竹 原 原 の 新 神 田 明 組 社 の （ 神 水 明 除 社 宮 ） ・ 竹 原 村 大 神</p>	<p>建 夜 設 間 さ 瀬 れ 川 た 流 砂 域 防 に 施 大 設 洪 が 水 流 発 出 生 し た 。</p>	<p>し ら 斜 れ め た に 。</p>	<p>堤 堤 防 防 を を 補 補 完 完 す 合 る 掌 。 （ 三 角 ） が 、 随 所 に つ く</p>	<p>採 夜 択 間 す 瀬 る 川 。 の 。 用 。 水 。 権 。 利 。 に 。 つ 。 き 。 八 。 ケ 。 郷 。 宣 。 言 。 書 。 を</p>	<p>防 面 活 活 動 動 を を し し や や す す く く し し た た 。 。</p>	<p>う 普 呼 通 び 水 名 利 に 組 合 と な る 。 。</p>	<p>八 八 ヶ ヶ 郷 郷 の の 呼 呼 び び 名 名 は 下 高 井 郡 夜 間 瀬 川 八 ヶ 郷</p>	<p>に と そ 時 っ 。</p>
<p>史 中 。 野 。 八 。 ケ 。 郷 。 水 。 利</p>	<p>史 中 。 野 。 八 。 ケ 。 郷 。 水 。 利</p>	<p>竹 竹 原 原 区 区 史 史 。 。</p>	<p>竹 竹 原 原 神 神 社 社 の の 歴 歴 史 史 。 。</p>	<p>竹 竹 原 原 区 区 史 史 。 。</p>	<p>竹 竹 原 原 神 神 社 社 の の 歴 歴 史 史 。 。</p>	<p>建 砂 設 防 部 事 砂 業 防 業 課 業 著 著 ） 著 ）</p>	<p>夜 夜 間 間 瀬 瀬 川 川 の の 地 地 形 形</p>	<p>竹 竹 原 原 区 区 史 史 。 。</p>	<p>史 中 。 野 。 八 。 ケ 。 郷 。 水 。 利</p>	<p>史 中 。 野 。 八 。 ケ 。 郷 。 水 。 利</p>			

1972	1961	1952	1937	1937	1936	1935	1934		
昭和 47	昭和 36	昭和 27	昭和 12	昭和 12	昭和 11	昭和 10	昭和 9		
<p>八ヶ郷の呼び名は中野市八ヶ郷土地改良区となる。(一月)</p>	<p>竹原神社地(現在の敬老園下)の神社地にコッパ飲料(株)が誘致された。そのため同地にあった水神太神宮は八ヶ郷タンクの北側の神社地へ移された。</p>	<p>竹原神社地(現在の敬老園下)の神社地にコッパ飲料(株)が誘致された。そのため同地にあった水神太神宮は八ヶ郷タンクの北側の神社地へ移された。</p>	<p>竹原村の八ヶ郷分水タンク付近の井戸・ずい道工事完成。(三月)</p>	<p>八ヶ郷分水タンク内の流勢による水の分配の不合理的を少なくするため、八ヶ郷の事業として貯水タンクの横幅を狭めた。あわせて、貯水槽の砂利あげや工事の際断水しなくともいいように、貯水槽の廻りに廻水路を設けた。その後、タンク内の流勢による水の分配の不合理的を更に少なくするため、貯水槽の中にコンクリートの仕切りを設けた。</p>	<p>八ヶ郷分水タンク内の流勢による水の分配の不合理的を少なくするため、八ヶ郷の事業として貯水タンクの横幅を狭めた。あわせて、貯水槽の砂利あげや工事の際断水しなくともいいように、貯水槽の廻りに廻水路を設けた。その後、タンク内の流勢による水の分配の不合理的を更に少なくするため、貯水槽の中にコンクリートの仕切りを設けた。</p>	<p>竹原村が松崎タンク付近に井戸・ずい道工事着工。(二月)昭和八年、八ヶ郷にコンクリート製の松崎分水タンクが完成すると、各堰への配分比率が公平になり、流量が固定された。竹原へもつと水が欲しい時は、これまでのように夜間瀬川の竹原堰の分水口で堰の底を掘り下げて、水量を増やすことはできなくなかった。</p>	<p>夜間瀬川は夜間瀬橋から越橋間の連続堤防完成。</p>	<p>夜間瀬橋は鉄筋コンクリートの永久橋となる。</p>	<p>夜間瀬川改良事務所の施設としてつくられた、使用権は八ヶ郷に所属された。</p>
<p>中野八ヶ郷水利史。</p>	<p>竹原神社の歴史。</p>	<p>中野八ヶ郷水利史。</p>	<p>竹原区史。</p>	<p>中野八ヶ郷水利史。</p>	<p>竹原区史。</p>	<p>竹原区史。</p>	<p>竹原区史。</p>		

2000	1986	1981	1976
平成 12	昭和 61	昭和 56	昭和 51
<p>物に指定)の工事を継続している。</p> <p>付近(チヨウゲンボウ繁殖地の国の天然記念整備が始められ、平成三十年の現在も十三崖は昭和四十年頃から上流の星川橋付近から園・マレットゴルフ場が作られた。夜間瀬川複断面化し、合わせて高水敷に順次河川公</p>	<p>脚を傾け、レールもくの字に曲がる。</p> <p>決壊をくい止め。長野電鉄木島線の鉄橋の橋</p>	<p>堤防決壊。</p> <p>った。金井・笠原地籍など三箇所夜間瀬川</p>	<p>れた。</p> <p>タンク南の道路向こう側の小高い所に移さ</p>
<p>建設事務所談。</p> <p>著)。長野県北信</p>	<p>務所談。</p> <p>長野県北信建設事</p>	<p>務所談。</p> <p>長野県北信建設事</p>	<p>談)。</p> <p>務所(中野事務所</p>

(中野市竹原一七七七)



堤間部化九るいろ流
瀬門が八。箇う防夜
も橋の懸一こ所と止間
考上対念。こがしの瀬
え流応さにも一てた川
らのにれ一作つめは
れ強委る部らあるの暴
る度ねと改れる。砂れ
とのたこ修て。と防川
思強いろさ八そこ工と
ういがもれ十れる事言
。む一あた数はがにわ
らつるが年、、よれ
さの。、に八複りた
き案こ取なヶ断ほ歴
岩との水る郷面ぼ史
をし対口。用化複が
利用て応水昭水が断あ
用左に門和取計面る
し図つ付五入画化が
たのい近十口さ工、
堰よてな六付れ事現
提うはど年近てを在
（に關老）でいおは
築夜係朽一あなわ偏